

史跡くらぶ

お鷹の道散歩

月番: 松本、菅野、石田、近藤

日時 : 2018年3月22日(木) 小雨決行(21日の天気予報による)

集合場所 : JR 西国分寺駅 南口改札

交通費 : JR 武蔵野線南浦和駅→西国分寺駅 464円 約30分

集合時間 : 9時45分

注) 南浦和駅を9:08分に乗車すると西国分寺駅9:37分着

出発時間 : 10時00分

コース概要: 西国分寺駅→東山道武蔵路跡→薬師堂→仁王門→武蔵国分寺跡資料館→武蔵国分僧寺跡→お鷹の道湧水園→真姿の池湧水群→国分寺駅(昼食)→殿ヶ谷戸庭園→国分寺駅
西国分寺駅よりボランティアガイド同行のため、順序が入れ替わる可能性あり

歩行時間 : 約2時間30分

・武蔵国分寺跡周辺、お鷹の道

(ボランティアガイド 10:00~11:40)

西国分寺駅から真姿の池まで

武蔵国分寺跡資料館 入館料 100円

・殿ヶ谷戸庭園 (ボランティアガイド 13:00~13:45)

入場料 65歳以上70円(団体 50円)

集合場所の西国分寺駅にて170円徴収

昼食 : 国分寺駅ビル9階で自由昼食(12:00~12:50)

昼食後 12:55に駅1階南入口集合

所要時間 : 約4時間00分

歩行距離 : 約4.0km

持ち物 : 飲料水、保険証



東山道武蔵路跡



薬師堂



国分寺楼門

●武蔵国分寺跡

奈良時代、国ごとに作られた国分寺の一つで、全国最大規模であったと言われるが、分倍河原の合戦で焼失。



●お鷹の道

江戸時代、将軍が鷹狩りの際に通ったことから名づけられた。石で固められた道の傍らに澄んだ水が流れ、鯉が泳ぐ、点在する農家の古い門や、屋敷林のケヤキの大木、竹林や蔵の家紋などが往時の武蔵野を彷彿とさせる。



●真姿の池伝説

平安時代、玉造小町という美女が病で醜くなった顔を、夢のお告げに従ってこの池の水で洗ったところ、美貌を取り戻したという伝説がある。



●殿ヶ谷戸庭園

満鉄副総裁江口定條の別邸だったが、昭和4年、旧三菱財閥の岩崎彦弥太が再整備した。後に都が買収し、昭和54年公開、国分寺崖線の地形を利用した回遊式庭園で、園内の次郎弁天池の水源も豊富な湧水。茶室の紅葉亭が建ち、カエデやツツジなどが植えられ、エビネなどの野草も多く、樹齢100年の藤棚もある。

